

ほすびたる



平成18年 2006.8

公立豊岡病院組合広報紙 臨時号

豊岡病院/日高病院/出石病院/
梁瀬病院/和田山病院

豊岡市民・朝来市民の皆さん

公立豊岡病院組合立5病院の 今後の「あり方」についての重要なお知らせです。

特集

「公立豊岡病院組合立病院のあり方検討委員会」 報告書について

組合立病院は、最近の急激な医師不足により、救急の受入制限や外来診療の縮小など、医療サービスの低下や財政悪化を招いており、今、根本的な改善を図らないと地域で本当に必要な医療も提供できなくなることが危惧される危機的状況にあります。

このような状況の中、組合立病院の今後のあり方を検討していただくため今年2月に設置した検討委員会から、このたび報告書が提出されました。

この報告書には、病院の現状や、今後の方向性についての提言等がまとめられています。“ほすびたる臨時号”では、その概要や、市民の皆さんからのご意見募集についてお知らせします。

●公立豊岡病院組合立病院のあり方検討委員会での検討状況や報告書は、
病院組合のホームページ “<http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/>” で公開しています。

委員会の構成

- 有識者 2名
 - 医師会 3名
 - 地区代表 5名
 - 各種団体 7名
 - 行政 3名
- 計 20名

○委員会の開催状況（平成18年）

- 2月 第1回委員会
- 3月 第2回委員会
豊岡病院視察
- 4月 日高・出石・梁瀬・和田山病院視察
第3回委員会
- 5月 第1回部会
- 6月 第4回委員会
- 7月 第5回委員会



— 報告書の内容より —

**国は現在「医療制度改革」を推進。
全国の病院が大幅な変革を迫られています。**

国は現在、「医療制度改革」を、平成20年度年完結を目途に推進しています。

今年の診療報酬改定では、過去最大の引き下げ（マイナス3.16%）となり、病院の収入が減少するほか、患者数に対する看護師の数が多き病院と少ない病院で大きな料金格差がつけられたため、都市部では看護師の争奪戦が始まっています。

これらの制度改正は、医療費の削減と同時に、病院の数そのものを減らそうとする意味合いが強く、財政の悪化などにより、全国の多くの病院が存続の危機にあり、大幅な変革を迫られています。

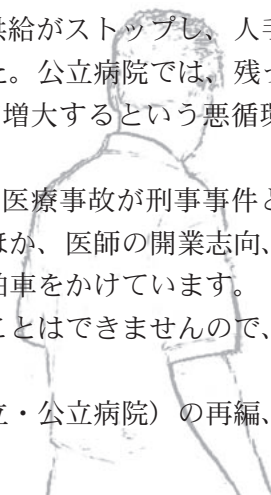
全国の公立病院で勤務医が不足し、医療サービスの低下と、それにとまなう財政悪化が起こっています。

平成16年度から、新「臨床研修医」制度が開始され、2年分の医師の供給がストップし、人手不足となった大学病院が、公立病院に派遣していた医師を引き上げ始めました。公立病院では、残った医師の負担が増大し、疲れ果てた医師が退職、さらに残った医師の負担が増大するという悪循環により、全国で診療科の閉鎖や休止が相次いでいます。

特に産婦人科、小児科、外科等では、慢性的に勤務が過酷である上、医療事故が刑事事件となるケースが増加している状況があり、医師のなり手そのものが減っているほか、医師の開業志向、都市部志向、給与の民間病院との格差などが地方の公立病院の勤務医不足に拍車をかけています。

病院は、医師がいなければ、医療サービスの提供により収入をあげることはできませんので、勤務医の不足は直ちに病院事業の収益悪化に結びつきます。

このような中、全国で、医療の確保のため、自治体立病院（県立・市立・公立病院）の再編、民営化などの動きが活発になっています。



**公立豊岡病院組合の5病院でも、勤務医が不足しています。
医療サービスの低下、運営資金の減少が起こっています。**

○豊岡病院

- ・7月から消化器科の医師が2名となり大幅に診療を縮小。
- ・8月から小児科医が5名に。
- ・救急センターが「時間外診療所」と化し、医師の負担が増加。
- ・他の病院の縮小に伴い患者が集積しスタッフが疲弊。

○和田山病院

- ・医師7名（平成15年は11名）。
- ・常勤外科医不在。
手術・当直・救急等の対応が困難。
- ・整形外科医1名減。

○日高病院

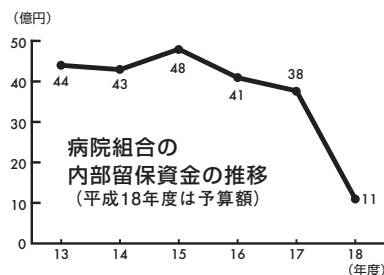
- ・医師8名（平成15年度は14名）。
- ・常勤外科医不在。
外科救急患者受入不可。
- ・8月から内科医3名に。
外来診療・入院の縮小。
- ・産婦人科医2名。
当直・出産対応が激務に。
- ・二次救急制限
- ・当直は外部の応援を得て対応。
- ・人工透析は何としても維持が必要。

○梁瀬病院

- ・医師5名（平成15年度は6名）。
- ・常勤医のみでほとんど全ての診察を行う。

○出石病院

- ・医師4名（平成15年度は7名）。
- ・二次救急制限。
- ・当直は外部の応援を得て対応。
- ・全ての面で医師の負担が過大に。



※内部留保資金：一般の貯金等に当たり、短期間に現金化できる資産
※旧豊岡病院敷地の売却益は計上していません。

組合立病院の「今後進むべき方向性」が提言されました。

国の医療制度改革、医師不足による医療サービスの低下と財政悪化などの厳しい状況を踏まえての意見・論点を整理・集約し、今後の組合立病院が進むべき方向性について、次のように提言されました。

○基本的な方向性

将来にわたり地域医療の確保・継続提供が可能な体制を構築する

○提言1 医師確保等について

(1) 魅力ある病院づくり

医師それぞれが持っている目的が実現可能な仕組みづくりと支援を行い、医師のキャリアアップを全組織的に図ることや、給与の見直しや業務負担の軽減等の処遇改善を検討することにより医師の定着を図っていく必要がある。

(2) 医師誘致策（院内開業）

医師不足解消策の一助として、医師が不足する診療科等について、病院の中での開業誘致を行うことも検討すべきである。

○提言2 医療提供体制の再構築について

(1) 病院と診療所の役割分担と協力体制の構築

地域医療を確保するには、地域の開業医との一層の協力関係は不可欠であり、診療に関する連携の強化に加え、地域医療に関する市民へのPR活動などについても協力しあうことが求められる。

(2) 病院の診療機能の集約化

勤務医が絶対的に不足している現状では、限りある医療資源を集約化することが、地域医療を確保するための必要条件であり、特に救急医療を実施していくためには、医師の集約は急務である。

その他の医療資源についても集約化を図ることで、優先度の高い領域について、地域医療の確保が図られることが期待される。

○提言3 病院組合の運営等について

(1) 病院組合の機動性の向上

病院運営を取り巻く急激な状況変化等に対して機動的な対応ができるよう、病院組合として適時・迅速な意思決定と一体的な取り組みが重要である。また、病院組合が行う取り組みに対し、市民の支援が得られるよう、積極的な情報提供を通じ、医療や病院の実情について十分な理解を得る努力が必要である。

(2) 経営改善

今後も収入増加・費用削減に積極的に取り組むべきである。人件費については、経営状況や他の団体等の状況も踏まえながら、適切な水準となるよう、適時見直しを検討すべきである。職員に対しては、病院理念の共有と経営参画意識の醸成を図っていくべきである。

提言の実現に当たり、次の留意すべき点が表示されています。

(1) 基本計画の策定に当たって

「地域にとって必要な医療を継続的に提供していく」という視点から、施策の効果等を十分に検討した上で行われることが必要である。

(2) 市民への説明責任について

病院のあり方は市民生活と密接に関係するものであり、市民の十分な理解を得るため、計画や施策の内容について十分な説明を行うことが必要である。

(3) 関係機関の協力について

救急医療等に関し、市民側にも適切な受診が求められる状況にある。休日診療所の活用などの市民に対する啓発について、医師会、行政、病院等の関係機関の協力のもと、一体的な取り組みが必要である。

(4) 地域全体の当事者意識について

現在但馬地域の医療が直面している様々かつ深刻な問題について、市民、行政、議会も当事者意識を持つよう努めなければならない。今後、病院組合が主体となって実施するであろう様々な取り組みが成功するには、上記当事者の理解と支援は必要不可欠で決定的な要因であると考えられる。

市民の皆さんからのご意見募集 について

公立豊岡病院組合では、報告書の提言を受け、今後の取り組みについての基本的な計画を策定することとしております。この計画策定に当たり、市民の皆さんからのご意見を募集いたします。

郵便で

宛先 〒668-8501 豊岡市戸牧1094 公立豊岡病院組合 総務部経営管理課

電子メールで

kikaku@toyookahp-kumiai.or.jp

各病院で

豊岡病院・日高病院・出石病院・梁瀬病院・和田山病院の「患者様ご意見箱」へ

※ご意見の内容は、今回の記事の内容に関連するものでお願いします。

※募集期限は、計画策定との関係上、平成18年9月20日(水)までとさせていただきます。

※個人情報の扱いには充分留意いたします。

編集後記

医療の状況は、本当にここ2年くらいで大きく変わり、おそらく皆さんの想像以上に厳しくなっています。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、元に戻ることはないでしょう。でも何とか、ごく近い将来、医療のより良い時代が来ることを目指して…
《編集委員 H》

◇発行 公立豊岡病院組合 ◇〒668-8501 豊岡市戸牧1094 ◇TEL 0796-22-6111(内線2111)

◇URL : <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/> ◇E-mail : kikaku@toyookahp-kumiai.or.jp

●本紙掲載の写真・イラスト・記事の無断使用・無断転載は禁じます。

公立日高病院の診療体制変更のお知らせ

但馬全域の深刻な医療不足について新聞紙上などで報道されているところですが、日高病院におきましても、昨年6月の大学からの外科医引き揚げ以来深刻な状態が続き、度重なる診療体制の変更・救急受け入れの縮小などによりご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

このような事態の中、4月より整形外科・皮膚科の診療枠を増やす等の改善も図ってまいりましたが、7月からは豊岡病院消化器科の診療応援に当院消化器専門医師を派遣する必要が生じたため、健診センターにおける胃カメラ検査を胃透視検査へ変更することを余儀なくされ、利用者の方にはご迷惑をおかけしているところです。

また更に7月末で内科医師が退職いたしました。残念ながら常勤医師の着任かなわず、豊岡病院の循環器科医師の応援による診療体制をとることとなりました。

このため、従来通りの診療は困難であり、外来・入院診療体制を見直しせざるを得ない状況となりましたので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

- | | |
|-------|-------------------------------|
| *外来診療 | 内科 午前診：火・水・木は1診のみ
午後診：木は休診 |
| *入院病棟 | 入院受け入れ患者数が減少いたします。 |
| *特殊外来 | 8月1日からライフスタイル外来を再開しました。 |

今後とも、一日も早い診療体制充実に努力して参る覚悟をしておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

公立日高病院 院長 芦田 一彌

公立日高病院 診療担当表

平成18年8月1日から

			月	火	水	木	金
内科	午前	1診	豊岡病院 循環器科医	三木	野田	田中	見坂
		2診	田中				三木
		3診				ライフスタイル外来 石田	消化器外来 森田
	午後	診察	三木	豊岡病院 循環器科医	田中		野田
外科	午前	診察	金子			金子	
整形外科	午前	診察		芦田	芦田		芦田
	午後	診察	PM2:00~4:00 担当医交代				
皮膚科	午後	診察			PM2:30~4:00 担当医交代		
産婦人科	午前	診察	阿江	福永	阿江	福永	阿江
	午後	診察			PM2:00~4:00 石田		
小児科	午後	1ヶ月検診			PM2:00~3:00 吉田		
眼科	午前	診察	港		港	港	

平成18年9月以降の 公立出石病院の診療体制について

公立出石病院の、平成18年9月以降の診療担当は以下の通りとなっています。

●公立出石病院 診療担当表 (内科は下記以外の日)

平成18年9月1日から

			月	火	水	木	金
内科	午前	1 診 (初診)	西岡	阿江	西岡	西岡	阿江
		2 診	阿江	西岡		阿江	西岡
	午後	午後診		阿江		西岡	
外科	午前	1 診	青木	小山	青木	青木	小山
		2 診			小山 受付10:00まで		
乳腺/肛門	午後		青木				
整形外科	午前	診 察					西島
	午後	診 察					西島

ただし、9月から12月の月2週、月曜日と火曜日には高橋医師の出張診療が行われますので、下の日の内科の診療担当は以下の通りとなります。ご注意ください。

●公立出石病院 診療担当表 (内科・右の日)

			月	火
内科	午前	1 診 (初診)	西岡	阿江
		2 診	高橋	高橋
		3 診	阿江	西岡
	午後	1 診		阿江
		2 診	高橋	高橋

	月	火
9月	11日 25日	12日 26日
10月	16日 30日	17日 31日
11月	13日 27日	14日 28日
12月	11日 25日	12日 26日